

家庭児童相談システム 機能仕様書

事業者名：デルタシステムズ

セキュリティ対策	1	ユーザーを ID・パスワードにより管理し、システムを使用出来るユーザーを制限出来る。
	2	管理者はユーザーの追加、変更、削除及び権限の設定が行える。
	3	ユーザーに対し、使用権限設定をすることが出来る。
基礎データ	1	関係機関・所属施設を登録することにより、相談受付画面でプルダウンメニューで選択出来る。内容は修正出来る
	2	基礎データは追加・変更・削除が出来る。
相談受付登録	1	相談受付に際し、受付番号を自動付番、手入力双方で入力出来る。
	2	生年月日を入力すると自動的に現在の年齢表示が出来る。
	3	学校、関係機関、住所が事前入力によりプルダウンメニューで選択入力出来る。
	4	虐待の種類・虐待者・虐待内容などを登録、追加、修正出来る。
	5	相談日と内容（面接・電話・発見）が登録出来る。
	6	登録された情報から児童相談票が自動に作成され出力できる。
	7	家族構成が入力できる。
	8	特定できない児童相談に関しても登録管理出来る。
	9	虐待に対し、ケース番号が自動付番出来る。
	10	初回主訴・継続記録・ケース概要・進行管理・措置簿の入力出来る。
	11	相談受付入力後、家族内の相談受付も自動作成出来る。
	12	対象児童に関わる全ての事例の経過記録を時系列に出力できる。
個別記録	1	家族図が作成でき、児童相談票に表示される。
	2	児童相談票が自動作成でき、保存・印刷出来る
	3	継続記録が出力できる。
	4	児童に関連するファイル（画像ファイル・PDF ファイル・Excel ファイル・Word ファイル）を同じ場所に管理出来る。
検索機能	1	相談区分・相談種別・相談経路・処理内容・ケース担当・受付番号・誕生日・氏名（姓）（名）・カナ（姓）（名）安否確認・電話・来庁・発見で検索出来る
	2	検索内容の一覧を保存・修正・印刷出来る
資料作成	1	要保護児童対策地域協議会実務者会議報告書を、全件・継続・終結で自動作成し、CSV 形式又は Excel 形式で保存、修正や出力が出来る
	2	児童措置簿の、年度別・措置別・施設別が統計・継続・解除で自動作成でき、CSV 形式又は Excel 形式で保存、修正や出力が出来る
	3	ケース管理台帳の全相談・要対協・児童相談・家児相・母子相談が全件・年度別・月別で自動作成でき、CSV 形式又は Excel 形式で保存、修正や出力が出来る
	4	児童福祉法における第43～45・49・59又は都報告例が全期・4 半期・月別で自動作成でき、CSV 形式又は Excel 形式で保存、修正や出力が出来る
全般	1	システムに関する問い合わせは、常時電話・メール・FAX 等で対応し、出張でメンテナンス等の対応もする。
	2	システムのカスタマイズは有料で可能。
	3	ワード、エクセル、アクセス等のデータ移行を行う。（有料）